

今回當八幡市に日本主義労働組合の結成さるゝに當り神野氏と僧侶や軍人が參つた事は非常に變な様であります。私と神野君とは水い親友であります。關係から何も判らない乍らも一言御挨拶を申上ぐる事と致しました。

私は國家の平和は一家から一家の平和繁榮は夫婦の和合か先決問題であり之が我が國隆盛の根本となるのであります。私が東京を出る時若い青年が盛んに野球をしてゐたが大變仲よくやつてゐた然し連中の内でも各個には相當の面白からぬ點も有ると思ふが團體的となれば自我を捨て事に當る處に日本精神として他國に見られない美しい所があると思ひます。斯うな意味で産業も同じ事である以上各従業員は勞資協調夫婦相和し以つて産業の發達隆盛に精進せねばならないと思ひます。我が國には古來幾度となく國難襲來現に蒙

古の博多灣に押寄る際良く地元諸君の先祖は之を防ぎ時の龜山帝が日連の記念碑が今尙敵國を監視しつゝ、非常時日本を告げて居るではありませんか。我が日本に於て八幡製鐵所が産業の心臓部である故に諸君は八幡市に居住し而も製鐵所に働いて居る事は光榮とせねばなりません。一家平和を念頭に置き國家の産業に盡されん事を希望します。私は歐州戦争の際佛國に居たのですが一年八ヶ月の戦争に日本は砲彈を百萬發費つたのに比し歐州各國は一日に百萬發賣つた關係上萬有工場に於ては之が製造に困難を來し職工が戦争に出ると云ふ始末で産業が止まる様になつた此の時職工の妻や子供を働いたのである。そこでこの重大な役割を持つ皆さんや奥様の氣持が吾等の祖國ロシヤを守れと云ふ様な事では危険此の上もないと言はねばなりません。